

研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-510
研究課題名 IPF/UIP 以外の間質性肺炎急性増悪症例の臨床像に関する検討 (多施設共同研究)
研究期間 西暦 2011 年 3 月 (倫理委員会承認後) ~ 2012 年 3 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (診療録の臨床データ)
上記材料の採取期間 西暦 2006 年 1 月 ~ 2009 年 12 月
意義、目的 間質性肺炎は徐々に肺活量が減少し呼吸困難をきたす慢性疾患ですが、様々な疾患に合併し、時に急性増悪といって、急速に病状が悪化することがあります。間質性肺炎の中でも「特発性肺線維症」は、その患者さんの数が最も多い疾患といわれていますが、その他にも間質性肺炎をきたす疾患が多数存在します。また、「特発性肺線維症」以外の原因で起こる間質性肺炎にも急性増悪が発症します。 特発性肺線維症以外の原因で起こる間質性肺炎の急性増悪に関する病状や治療の実態は明らかではありません。私たちは間質性肺炎の患者さんを多数診療している全国の主要な施設と共同で、2006.1 から 2009.12 の期間に間質性肺炎の急性増悪を発症した患者さんの臨床データ (喫煙、血液データ、呼吸機能検査、実施された治療内容、その効果判定など) を収集分析し、この疾患の有効な治療法を検索することを目指しています。 これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究に於いて臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡下さい。
方法 2006.1 から 2009.12 の期間に間質性肺炎の急性増悪を発症した患者さんの臨床データ (喫煙、血液データ、呼吸機能検査、実施された治療内容、その効果判定など) を収集します。得られたデータは、個人を同定できない匿名化をされた状態で送付されます。その後、本部、および、研究班班員により解析が行われます。 参加施設は以下のとおりです。 (本部)

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 呼吸器センター内科

(参加施設)

厚生労働省難治性疾患克服研究事業びまん性肺疾患調査研究班への参加施設

札幌医科大学第三内科

福島県立医科大学呼吸器内科

東北大学大学院医学系研究科呼吸器病態学分野

自治医科大学呼吸器内科

埼玉医科大学呼吸器内科

虎の門病院呼吸器センター内科

東邦大学大森病院呼吸器内科

東京医科歯科大学呼吸器内科

東京慈恵会医科大学呼吸器内科

東京医科大学呼吸器内科

帝京大学医学部内科学講座アレルギー呼吸器学

日本医科大学呼吸器・腫瘍内科

神奈川循環器呼吸器病センター

浜松医科大学第二内科

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野

愛知大学医学部呼吸器アレルギー内科

公立陶生病院アレルギー・呼吸器内科

京都大学医学部附属病院リハビリテーション部・呼吸器内科

京都大学医学部附属病院呼吸器外科

天理よろず相談所病院呼吸器内科

徳島大学呼吸器・膠原病分野

産業医科大学呼吸器内科学

問い合わせ・苦情等の窓口

東北大学大学院医学系研究科

呼吸器病態学分野、久田修・海老名雅仁

電話：022-717-8539 (直通)、Fax:022-717-8549